

第3節 重点プロジェクト

本市が重点的に取り組む施策として、5つの重点プロジェクトを設定しました。

重点プロジェクトの設定に当たっては、施策の優先度のほか、環境問題だけでなく、経済、健康、防災などの社会的課題も同時に解決をめざす施策を位置付けています。

1
ゼロカーボンシティ
推進プロジェクト

2
将来を見据えた
ごみの適正処理
推進プロジェクト

3
大気汚染対策強化
プロジェクト

4
自然と共生する
豊かな社会実現
プロジェクト

5
環境パートナー
シップ推進
プロジェクト

重点プロジェクトの環境分野以外で期待される便益（ベネフィット）

プロジェクト名	経済	健康	教育	防災
ゼロカーボンシティ推進プロジェクト	●	●		●
将来を見据えたごみの適正処理推進プロジェクト	●			●
大気汚染対策強化プロジェクト	●	●		
自然と共生する豊かな社会実現プロジェクト	●			●
環境パートナーシップ推進プロジェクト			●	

ゼロカーボンシティ 推進プロジェクト



1 概要

- 近年、持続可能な未来をめざし、温室効果ガスの排出を大幅に削減又はゼロにするための取組が進められています。
- 本市は、脱炭素社会の実現に向けて、市民、事業者、行政が一体となって、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。
- 脱炭素社会の実現のために、引き続き、自転車活用を推進するほか、太陽エネルギーの利用促進やカーボンニュートラルポートの形成を促進します。

2 事業の内容

事業	事業の内容
● 太陽エネルギーの利用促進 (基本目標1 脱炭素社会の構築)	・ 太陽光発電システムのほか、蓄電池を設置することにより、災害時のレジリエンス強化や住宅等におけるエネルギーの自家消費を促進します。
● 公共交通機関の利用促進 (基本目標1 脱炭素社会の構築)	・ 持続可能な地域公共交通ネットワークの構築や、公共交通の利便性の向上に取り組むなど、バスや鉄道等の地域公共交通の利用を促進します。
● 自転車活用の推進 (基本目標1 脱炭素社会の構築)	・ 自転車通行空間や自転車駐車場等の環境整備などにより、自転車の活用を推進します。
● カーボンニュートラルポートの形成促進 (基本目標1 脱炭素社会の構築)	・ 福山港におけるカーボンニュートラルポートの形成を促進します。
● ブルーカーボンの創出促進 (基本目標1 脱炭素社会の構築) (基本目標4 自然共生社会の構築)	・ 藻場等の海洋生態系を活用した新たな温室効果ガス吸収源対策の検討を行うとともに、それらの生態系の維持・拡大に向けた取組を推進します。

3 スケジュール

事業名	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
太陽エネルギーの利用促進	→				
公共交通機関の利用促進	→				
自転車活用の推進	→				
カーボンニュートラルポートの形成促進	→				
ブルーカーボンの創出促進	→				

将来を見据えた ごみの適正処理推進 プロジェクト



1 概要

- 本市では、焼却施設の老朽化やRDF（ごみ固形燃料）の供給先である福山リサイクル発電事業が2023年度（令和5年度）に終了することから、2024年度（令和6年度）に新たなごみ処理施設「ふくやま環境美化センター」の供用を開始します。
- ふくやま環境美化センターを活用し、エネルギーの有効利用に向けた取組を行います。
- 海洋プラスチック問題に対応するため、プラスチックごみ対策を強化します。
- 超高齢社会等に対応し、高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるよう、ごみ処理体制を構築し、適正処理を推進します。

2 事業の内容

事業	事業の内容
<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギーの地産地消の推進 (基本目標1 脱炭素社会の構築) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくやま環境美化センターで発生する熱エネルギーを有効利用します。 ・福山未来エナジー(株)と連携してエネルギーの地産地消を推進し、温室効果ガスとコストの削減に取り組みます。
<ul style="list-style-type: none"> ●プラスチックごみ対策の強化 (基本目標2 循環型社会の構築) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの削減に向けて、経済性と環境負荷のバランスのとれた持続可能な方針を決定し、排出抑制と再生利用の強化に取り組みます。
<ul style="list-style-type: none"> ●超高齢社会等に対応したごみ処理体制の推進 (基本目標2 循環型社会の構築) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がいのある方をはじめ、誰もがごみのことで困ることなく安心して暮らすことのできるごみの処理体制を構築・運用します。

3 スケジュール

事業名	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
再生可能エネルギーの 地産地消の推進	→				
プラスチックごみ対策の 強化	調査・方針	対策の強化	→		
超高齢社会等に対応した ごみ処理体制の推進	モデル事業	検証	見直し	→	

大気汚染対策強化プロジェクト



1 概要

- 大気汚染は、主に工場・事業場からのばい煙や自動車からの排出ガスが原因となっています。
- 本市では、市内8か所において、大気汚染物質の常時監視を行っています。硫黄酸化物や窒素酸化物などは改善傾向が見られますが、光化学オキシダントは環境基準を満たしていません。
- 更なる大気環境の改善に向けて、排ガス対策や環境コミュニケーションを促進します。

2 事業の内容

事業	事業の内容
<ul style="list-style-type: none"> ● 排ガス対策の促進 (基本目標3 地域環境の保全) 	<ul style="list-style-type: none"> ・工場・事業場の設備改修時における公害防止装置の設置や立入指導などにより、設備の適切な維持管理を指導します。 ・公共交通機関の利用促進や次世代自動車の普及促進など、移動発生源からの汚染物質削減に取り組みます。
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境コミュニケーションの促進 (基本目標5 持続可能な社会を担う人づくり) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と事業者の相互理解を深めるため、定期的な意見交換を促進します。

3 スケジュール

事業名	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
排ガス対策の促進	→				
環境コミュニケーションの促進	→				

自然と共生する 豊かな社会実現 プロジェクト



1 概要

- 身近な自然を大切にすることで、人々が自然と接する場所や時を増やすことができ、その結果、人と自然の間の深いつながりが生まれ、私たちの心に潤いと安らぎをもたらすとされています。
- 本市においても、自然との共生に配慮し、環境負荷の少ない社会を構築し、魅力的で快適な環境の実現をめざす必要があります。
- 自然共生社会実現のために、ブルーカーボンに向けた事業を促進するとともに、生物多様性や森林整備等を推進します。

2 事業の内容

事業	事業の内容
● バイオマス事業の促進 (基本目標 1 脱炭素社会の構築)	・ バイオマスによる未利用エネルギーの有効利用等の方向性について検討します。
● ブルーカーボンの創出促進 (再掲) (基本目標 1 脱炭素社会の構築) (基本目標 4 自然共生社会の構築)	・ 藻場等の海洋生態系を活用した新たな温室効果ガス吸収源対策の検討を行うとともに、それらの生態系の維持・拡大に向けた取組を推進します。
● 生物多様性保全推進事業 (基本目標 4 自然共生社会の構築)	・ 生物多様性基本法に基づき、努力義務に位置付けられている生物多様性地域戦略の策定に向けて検討します。 ・ 地域における生物多様性を保全・再生するために、その他の個別事業と連動した取組を進めます。
● 森林整備事業 (基本目標 4 自然共生社会の構築)	・ 森林整備の促進により、水源涵養や災害に強い機能の発揮、温室効果ガスの吸収による地球温暖化防止に取り組みます。

3 スケジュール

事業名	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
バイオマス事業の促進	→				
ブルーカーボンの創出 促進（再掲）	→				
生物多様性保全推進事業	→				
森林整備事業	→				

環境パートナーシップ推進プロジェクト



1 概要

- 本市では、市民や事業者、小・中学生などを対象にした出前講座のほか、学校で行う環境保全活動の支援などを行っています。
- 出前講座の受講者をはじめ、公衆衛生推進委員、学校などが、地域で率先して環境保全活動を行っていますが、個々の取組にとどまっているため、団体間の情報交換や相互連携、人材交流などによる更なる活動の活性化が必要です。
- 地域で環境問題に携わる人材を育成するほか、市内を活動拠点とする市民団体などと定期的に意見交換を行うなど、パートナーシップの推進に取り組みます。

2 事業の内容

事業	事業の内容
● 学習拠点の充実 (基本目標 1 脱炭素社会の構築)	・ 福山市リサイクルプラザを、福山市次世代エネルギーパークのビジターセンターとし、持続可能な社会について理解を深めることができる学習拠点として活用します。
● 環境学習の支援 (基本目標 5 持続可能な社会を担う人づくり)	・ 環境学習に活用できる動画を配信することで、環境学習や体験学習を支援します。
● 定期的な意見交換会 (基本目標 5 持続可能な社会を担う人づくり)	・ 環境問題の現状や活動内容などについて、市民や市民団体、事業者などと定期的に意見交換を行います。
● グリーンなものづくり企業 プラットフォーム事業 (基本目標 5 持続可能な社会を担う人づくり)	・ プラットフォームを構築し、環境対策に取り組む事業者による情報交換や交流、共同研究などの実践を行います。

3 スケジュール

事業名	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
学習拠点の充実	→				
環境学習の支援	→				
定期的な意見交換会	→				
グリーンなものづくり企業プラットフォーム事業	→				